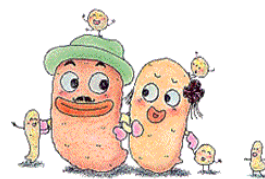


湯戸飛夜いけいけだより



Jinen Joe family

記事:

- ・ 新年明けましておめでとうございます
- ・ 戸田駅前ビアガーデン「『秋覚祭』を開店しました」
- ・ 周南子ども夢まつり「イカ焼きで出店しました」
- ・ 西徳山いけいけ大収穫祭 in ソレーネ周南「イカ焼きで出店しました」
- ・ 連載小説『涙にぬれた蒼き思いー徳山七土物語』第14回
- ・ 郷土料理「けんちょう」
- ・ 花いっぱい運動「地域花壇研修会に参加しました」
- ・ 今後の行事予定

会員募集中

あなたも「西徳山まちづくりの会」で一緒に活動しませんか。会では、常時、会員を募集しています。

E-mail:

nishitokuyamamatizuk
urinokai@gmail.com

発行 西徳山まちづくりの会

新年明けまして

おめでとうございます



令和2年の新春を迎え、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。私たち西徳山まちづくりの会は、平成10年7月に結成され、本年度で23年目を迎えます。ふるさとはそこに住むみんなで守り育てていくもので、住みよさの基本は人と人のつながりです。顔を合わせ、あいさつをしよう。語り合い、お互いを理解し、尊重する。そして心を通わせ、助け合う。住民同士が楽しく交流し、お互いの良さを認め合い、力を合わせてより良い地域を作っていく、これがまちづくりと考えています。

まちづくりの会では、人と人が集う場の提供として、戸田駅前広場で、年2回ビアガーデン（納涼会と秋覚祭）を開催しています。一緒に楽しく時を過ごしましょう。お待ちしております。また、「戸田駅を花の駅にしよう」を合言葉に西徳山地区（湯野・戸田・夜市）の玄関口である戸田駅前広場の環境美化に取り組んでいます。毎月第2、第4土曜日の16時（夏場は17時）から1時間程度、戸田駅前花壇のお世話、広場周辺の草取りなどの作業をしています。花育てに興味のある方、手伝っても良いと思われる方の参加をお待ちしています。

少人口、高齢社会を迎え、まちづくりの課題は山積しています。自分たちでできることは自分たちで行い、行政にしかできないことは積極的に働きかけていく。私たちは、住む人たちが生き生きと暮らせる仕組みづくりを話し合い、行政に提案していきたくと考えています。西徳山まちづくりの会には老若男女誰でも参加できます。毎月第1水曜日に、夜市市民センターで西徳山まちづくりの会全体会を開催しています。『自分たちの住むまちは自分たちでつくっていく』ものです。まちづくりに興味のある方の参加をお待ちしています。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

迎春



西徳山まちづくりの会

戸田駅前ビアガーデン

しゅうかくさい 「秋覚祭」を開店しました

令和元年10月12日(土)台風19号が西日本に上陸するとの予報で、列車は止まっていた。周南市には強風注意報が出ているものの天気は良く、予定通り、12時から戸田駅前「秋覚祭(しゅうかくさい)」と名付けた海鮮ビアガーデンを開店しました。

今年は秋刀魚(さんま)は高値のため残念ながら味わえませんでした。サザエ、イカ、ハモ、車海老、渡り蟹など豊富な海の幸と新米むすび、さつまいも、里芋などの山の幸、新鮮な秋の味覚を存分に愉しみ、冷たい

ビールで喉を潤おしながら談笑し、至福のひと時を満喫しました。

次回の駅前ビアガーデンも戸田駅にポスターを掲示します。参加に申込みは不要です。皆さんの参加をお待ちしています。

(店主敬白)



周南こどもゆめまつり イカ焼きで出店しました

令和元年10月27日(日)に夢プラザ熊毛を会場に開催された周南こどもゆめまつりに、イカ焼きで出店しました。当日は晴天で、人出も多く、お祭は大盛況でした。

今年も中学生ボランティアの手伝いがあり、屋台村の売り子、看板娘をお願いしました。

11時頃までは焼きイカの売れ行きは低調で



したが、昼には長蛇の列ができ、用意したイカは完売しました。

“イカ焼き隊”これからも色々なイベントに出店し、活動資金を集めたいと思います。



西徳山いけいけ大収穫祭inソレーネ周南 イカ焼きで出店しました

令和元年11月24日(日)9時からソレーネ周南で開催された「西徳山いけいけ大収穫祭inソレーネ周南」に、毎回大好評の「イカ焼き」で出店しました。当日、会場準備のときに朝焼けが出ていたため天候を心配

していましたが、10時頃から小雨が降り始め、屋台村への人出はいまいちでした。しかし、幸いにも正午頃には雨があがり、屋台村の方にも人が集まりだし、準備したイカを何とか完売することができました。次回ソレーネ周南のイベントの際にも出店をしたいと思います。ぜひ、皆さんもご賞味ください。



連載小説

『涙にぬれた蒼き思い—徳山七士物語—』 第14回 文 城山 耕筈

三家老の切腹や、「奇兵隊」をはじめとする藩内の主な諸隊の解散命令を出すなど、長州本藩は、幕府に恭順の姿勢を貫いた。また、五卿の長州藩外への追放命令が幕府から通達されており、五卿の九州移送が決まった。移送までの間、長府の功山寺に五卿は滞在し、諸隊の幹部も功山寺近くに留まり、重い雰囲気を持つ日が続いた。

しかし、難を逃れて九州に潜伏していた高杉晋作が長府に戻り、諸隊幹部が集まる場で「君たちは、座して死を待つつもりか。私は、萩におられる殿への忠義のため、赤穂浪士討ち入りの日である12月14日に決起する。」と檄を飛ばすと、沈んでいた諸隊の動きに戸惑いが生まれた。

準備の遅れから日がずれ込み、12月15日未明、伊藤俊輔率いる力士隊と石川小五郎率いる遊撃隊、義侠心から参加した侠客のわずか84人が功山寺境内に集まり、五卿筆頭である三条実美から決起の盃を高杉晋作が受けると、少人数の軍行動が成った。翌16日に三田尻で軍艦3隻を奪取し、勢いが増すと、挙兵に消極的であった奇兵隊軍監の山県狂介も軍に加わり、奇兵隊挙兵に呼応するように多くの諸隊も迎合し、大きな動きとなって進軍が始まった。

1865年1月6日、7日、「絵堂の戦い」「太田の戦い」で、幕府に恭順する長州本藩勢力と奇兵隊ほか諸隊が開戦した。士気の高い奇兵隊ほか諸隊が勢いを上回り、萩に向かって進軍した。

一方、徳山藩では、新年を迎え、野上家老に従う者の指示により、1月11日、浜崎の牢獄に収監されている大城清、浅田又之丞、本田久太夫の3名の食事に、併せて毒入りの酒が出された。

「本日は、新たな年を迎えたゆえ、酒を出す。有難くいただくといい。」と牢獄の番人から3名は聞かされると、「それであれば、あなたもご一緒しましょう。」と大城清が牢獄の番人に応え、牢獄の番人のかすかな戸惑いを大城清は見逃さなかった。

「大城清たちは、毒入りの酒を飲みませぬ。」と牢獄の番人から指示した者へ報告があると、野上家老にも報告が届いた。「尊王攘夷の運動を先導してきた大城清、浅田又之丞、本田久太夫の3名を、このままにしておくことはできぬ。幕府への恭順が藩の方針である。流刑に決したと海に連れ出し、始末しろ。」と野上家老から田中一学に指示が出た。

1月14日、大城清、浅田又之丞、本田久太夫の3人は、手を縛られた状態で田中一学たち数十名に取り囲まれながら歩かされ、新宮海浜に着いた。

「どこにも船が無いではないですか。」と大城清が田中一学に言った瞬間、田中一学の合図で一斉に3人の首に縄ひもがかけられ、ひもの両端を複数の役人が引いた。「うっ、・・・」と3人のうめき声がもれ、次第に顔面が赤黒くなると、手が使えず足をバタバタさせながら失禁し、しばらく後にも動かなくなった。大城清享年41歳、浅田又之丞享年33歳、本田久太夫享年41歳。最後に3人が見た空は、青空からかすんだ蒼い空と変化していき、最後は涙でかすんだ真っ赤な空であった。

「遺体はこの砂浜に埋める指示を受けている。すぐに穴を掘って埋めるぞ。」と田中一学が発すると、数十人が大きな穴を3か所用意し、遺体を穴に投げ込み砂をかけると、役人たちは罪悪感を抱えながら浜崎の牢獄に向けて帰って行った。

徳山藩主毛利元蕃（もうり もとみつ）には、家老野上から「3人は牢内で病死いたしました。」と報告された。事実は秘匿され、3人の家族への遺体の引き渡しはなかった。

(以下次号)

児玉神社にある徳山七士の碑



西徳山まちづくりの会

編集後記

毎号のことだけど、何の記事を取り上げるのかが問題になる。とりわけシリーズものに関しては頭を悩ませる。これまでに西徳山の人、名所旧跡、グループ紹介などを取材してきた。ここにきて、出尽くしたのであろうか次の話題が出てこない。

毎年同じ記事になっていないか、マンネリ化していないか。編集員の力量が問われている。

小紙は今回で初刊から12年経ち、もうすぐ節目の50号を迎えることになる。この時は来し方を振り返ってみるのもよいと考えている。

たかが50号されど50号。私たちは小紙の続く限り、読者の皆様に満足していただけるようなホットな記事を愚直に書き続けようと思う。

まだまだ私たちの知らない事があるはずだ。また、すでに記事として取り上げていてもその後の展開を紹介できるはずだ。私たちの内外へ向けての広報活動は続く。

発行責任者

会長 神本康雅
広報部長 木曾裕子

西徳山まちづくりの会

ホームページURL:

nishitokuyama.web.fc2.com

郷土料理 「けんちょう」

「けんちょう煮」、「けんちょう炊き」とも言われ山口県の郷土料理のひとつであり、大根と豆腐を煮た精進料理です。

山口県のほぼ全域で食されていますが、山口県外で目にする機会は少なく、愛媛県には「けんちゃ」という類似料理があり、これは大根が大量に出回る冬場の家庭料理の一つとされています。

出来上がり直後よりも、出来上がってしばらくしたもの（一晩おいたもの）などを温め直したもののほうが大根と豆腐に味がなじんで美味しいと言われています。

けんちょうに似た名前に「けんちん」という豆腐料理があり、中国料理の「ケンチェン（そうめん・青菜・豆腐を油で炒めたもの）」がなまったものではないかと言われています。けんちょうもその調理法から山口県の呼び名と思われる。

由来に諸説ありますが、何はともあれ、けんちょうを作ってみませんか？冬にはほっこりとしたおふくろの味、からだを温まることうけあいです。

大根、人参はいちょう切りにする。油揚げは食べやすい大きさに切る。鍋に油を入れ野菜を炒め、火が通ったら水を切った豆腐をほぐして加え、油揚げも入れ、醤油、酒、みりん、砂糖で味付けをする。それぞれの家庭で、鶏肉、里芋、椎茸他を入れて我が家の味にしてみたいかがですか。



花いっぱい運動

「地域花壇研修会に参加しました」



令和元年10月25日、周南市公園・花とみどり課の主催事業に参加しました。

はじめに柳井市のシクラメン栽培農家のハウスにて、栽培のポイントや苦労などのお話をお聞きしました。地域花壇には馴染みのない花ですが、家庭で育てる冬の花として詳しくお話をうかがいました。

次に柳井フラワーランドに行き、園内の美しい花をめぐりながら、配色や植える時期・種類などの説明を受けました。その後、花壇のひとつにパンジー、セキチク、シロタエグサ等を自分たちのデザインで実際に植えてみました。いつもよりハイセンスな花壇に仕上がったと思います。戸田駅前花壇の植え方にかかっています。

(ワタちゃん)



今後の行事予定

西徳山まちづくりの会全体会

原則として毎月第1水曜日の19時30分から夜市市民センター

戸田駅前広場周辺の清掃

毎月第2、第4土曜日の16時から、戸田駅前広場の清掃と花壇の手入れを行っています。

お手伝いしていただける方、大歓迎です。